

**製品名: GATA3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80632**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GATA3
別名	HDR
遺伝子 ID	2625.0
SwissProt ID	P23771
免疫原	大腸菌で発現した GATA3 (aa175-388) の精製された組み換え断片。

**背景**

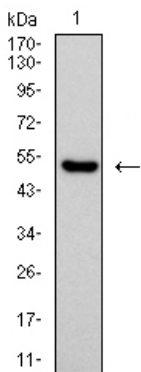
GATA3: GATA 結合タンパク質 3。T 細胞抗原受容体の 4 つのサブユニット（アルファ、ベータ、ガンマ、デルタ）すべての遺伝子は、それぞれ異なるエンハンサーとそれらのエンハンサー結合タンパク質によって制御されています。Marine と Winoto (1991)

は、エンハンサー結合タンパク質 GATA3 が4つすべての TCR 遺伝子のエンハンサー要素に結合することを実証することにより、共通の TCR 制御要素を特定しました。GATA3 は、ニワトリにおいて、ジンクフィンガードメインを含むエンハンサー結合タンパク質であることが示されていました。GATA3 mRNA は、ノーザンブロット解析によって T 細胞で検出されましたが、B 細胞、マクロファージ、または HeLa 細胞株では検出されませんでした。GATA3 は T リンパ球系譜で豊富に発現しており、エンハンサーへの結合を介して T 細胞受容体遺伝子の活性化に関与していると考えられています。Labastie ら (1994) は、ヒト遺伝子とマウス遺伝子の 5' 末端をクローニングしました。ヒト遺伝子は 17kb の DNA に分布する 6 つのエクソンから構成されています。2 つのジンクフィンガーは、GATA1 のエクソンと高度に保存された 2 つの独立したエクソンによってコードされていますが、それ以外の構造的相同性は両遺伝子間に認められませんでした。

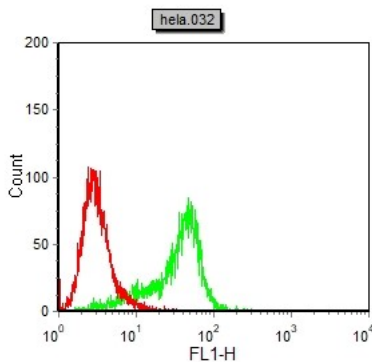
## 研究分野

-

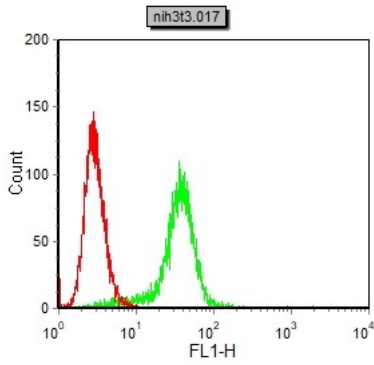
## 画像データ



A549 細胞溶解物に対する GATA3 マウス mAb を使用したウエスタン ブロット分析。



GATA3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



NIH3T3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。